

## 市政懇談会「常磐大学生と笠間を語る。」

開催日時：11月28日（木）午後2時40分～4時10分

場所：常磐大学

出席者：10名

### 《意見交換内容》

1. 笠間市の来年度の採用予定は何名か。  
→今年度の一般行政職（事務職）の退職者が10名程度となります。それに伴い、概ね10名程度の採用となる予定です。
2. お正月や菊まつりの時期は観光客が多くなってきたようなので、今後もっと観光客が増えるといいと思う。  
→日本の人口が減るなか、地域の商業や産業を持続させていくためには、外部から人を呼び込み、消費の拡大を図ることが重要となります。このことから、笠間市を含め、さまざまな地域が観光に力を入れています。笠間市を訪れる観光客のなかには外国からの方、特に台湾の方が多くいます。外国からの観光客を呼び込むために、笠間市では、近隣の水戸市や大洗町などと協力をしながら観光客の誘致を行っています。
3. 子どもが安全に道を歩けるように道路や街灯がもっと整うと良いと思う。子育てしやすいまちをもっとPRして欲しい。  
→情報が氾濫する世の中で、それぞれの分野の情報をどうやって市民に理解してもらうかということは、非常に大切であり、かつ、難しい課題です。今後も、住民の皆さんに必要な情報がきちんと届くよう取り組んでいきます。  
安全対策としては、現在、学校や幼稚園などの近くの交差点に歩行者保護のためのポールを設置しています。この他、必要箇所への防犯カメラ・防犯灯の設置と整備などを進めています。  
子育て支援は、全国の自治体が力を入れている取り組みです。笠間市だけではなく、日本全体が子育てをしやすい国として成長していくことが大切だと考えています。笠間市も、子育てがしやすいまちとなるようこれからも頑張っていきます。
4. 茨城の魅力度が最下位なのは、産業や農業があるため観光にはあまり力を入れていないからなのではと思った。笠間の場合どうか。  
→観光と地域の産業などの側面から見ると、笠間市はエリアによってそれぞれの特色を持っています。例えば、観光資源が集中し、観光客が特に多いのが笠間地区、産業に特化しているのが岩間地区や友部SA近くの工業団地、交通の利便性が高いことから人の住まいとして人口の減少が他よりも少ないのが友部地区となり、農業は笠間市全体で取り組んでいます。このことから笠間市にとっては、観光も産業も農業もそれぞれ重要だと考えています。

## 市政懇談会「常磐大学生と笠間を語る。」

5. 友部駅周辺は、道にゴミが多いと思う。プラスチックごみを減らす啓発運動をしてはどうか。  
→市では、プラスチックごみを減らす取り組みを、まずは庁舎内で今年の7月から始めています。啓発用のクリアファイルを紙製に変えたり、菓の入れ物をプラスチックの袋から紙の袋に変えたりなど、少しずつ取り組んでいます。そして、来年度からは市民向けに啓発を行い、市民の皆さんにも協力をいただきながらプラスチックごみを減らしていくための対策を進めていきます。
  
6. 動物指導センターでは殺処分ゼロを目指していると聞いた。譲渡会を開いたり猫カフェがあれば、もっと殺処分を減らせると思う。  
→市では、茨城県動物指導センターと協力し、できるだけ譲渡できるよう取り組む他、飼い主の役割の徹底や、去勢手術の補助などを行っています。  
また、最近は災害時のペットの避難も課題となっています。避難所の居住スペースには、動物アレルギーを持つ方もいるため入れることは難しいですが、同じ敷地内にペット用のスペースを設けるなどの検討が必要だと考えています。
  
7. 畑岡選手はスナックゴルフをやっていた。もっとスナックゴルフを盛り上げて、第2の畑岡選手を目指す人が増えてくれると嬉しい。  
→笠間市では、全ての小学校がスナックゴルフを行っています。毎年笠間市の小学校が全国大会に出場しているほどのレベルで、今年は岩間第三小学校が全国大会で3位となり、韓国遠征にも参加しました。しかし県内では、市町村によっては取り組んでいないところもあります。他の自治体にも呼びかけることで競技人口を広げ、競争をしながら選手の力を高めていきたいと思えます。  
また、市との交流が深い台湾もゴルフが盛んです。台湾の子ども達へスナックゴルフを普及させるための取り組みも現在行っており、子ども達の交流も進めています。
  
8. 笠間稲荷神社周辺にはカフェが増えてインスタ等で知る機会も増えた。ただ、車がないとアクセスが不便なので、アクセスがしやすくなると良いと思う。  
→市では、空き店舗を活用した新たな出店に対して改修などへの補助をしています。  
このことから、市内に新店舗が増えてきています。交通手段として、かさま観光周遊バス・デマンドタクシーの運行、レンタサイクルを行っています。運行数が少ないなどの課題が挙げられています。今後、かさま観光周遊バスの増便や、シェアカーなど第三の交通手段の導入なども検討しています。

## 市政懇談会「常磐大学生と笠間を語る。」

9. 福原に住んでいるが、車がないので、バスやデマンドだけでは不便。出かけたり買い物したりしやすい環境になってほしい。

→免許を返納した高齢者の交通手段が笠間市でも課題となっています。現在、笠間市では、デマンドタクシーや観光周遊バス、レンタサイクル、イベント時に走るシャトルバス、スクールバスを活用しています。デマンドタクシーは、1日250名程度の方が利用しており、有効な手段の一つと考えられます。今後、交通手段の不便さを解消するため、運行日や運行時間を広げるなどの見直しが必要だと考えています。買い物については、地区によっては買い物をする店が遠いというところもあります。現在は、企業と協力をしながら高齢者のための移動販売を行っています。

10. 岩間在住だが、駅と家が遠く不便。改善する手段はないか。

→市では、デマンド交通の充実化が必要だと考えています。また、国では、小型の電気自動車購入への補助なども検討されており、今後もさまざまな方法で交通手段の確保を検討していきます。